

第5節 メディア利用の状況

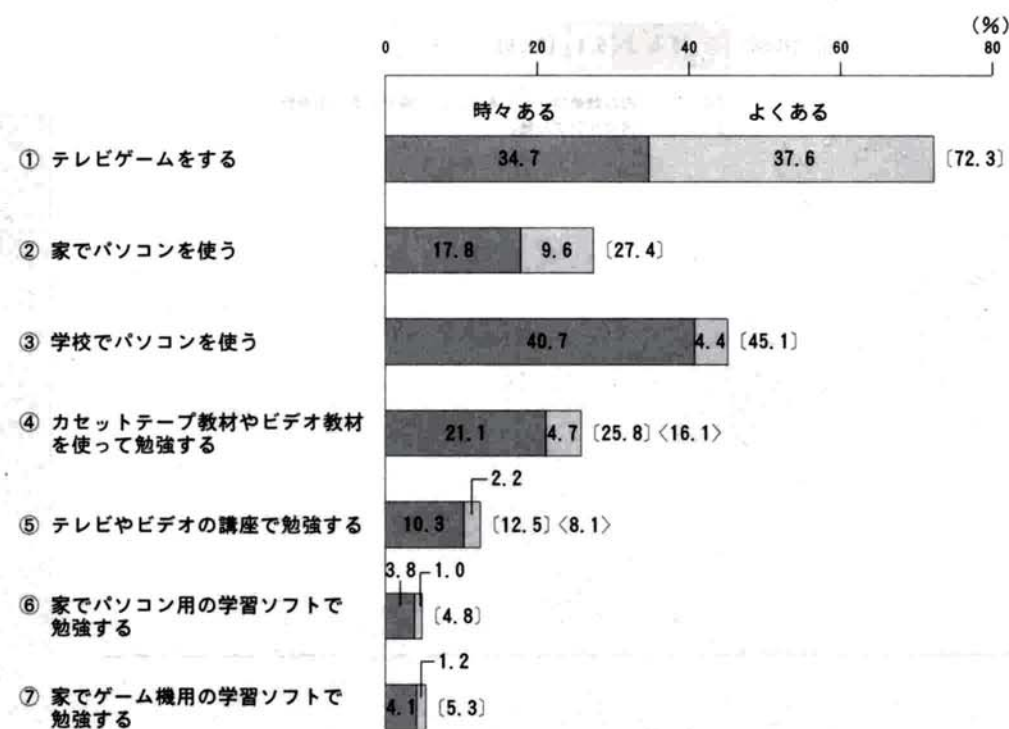
【中学生のメディア利用のうち際立っているのは、「テレビゲーム」である。パソコンの利用率も比較的高いが、学校の勉強の補助教材として積極的に利用するケースは少ない。】(図1-12、図1-13)

Q20 パソコンやテレビ、テレビゲームなどのメディア(機械)についてうかがいます。1)~7)のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

学習活動の新たな側面として、各種のメディアの利用状況を探ってみた(7項目を設定)。

まず、もっとも多いのは「テレビゲームをする」で7割強に達した。これに「学校でパソコンを使う」(45.1%)が続き、「家でパソコンを使う」(27.4%)と「カセットテープ教材やビデオ教材を使って勉強する」(25.8%)がおおよそ4分の1を数える。いまのところ、「テレビやビデオの講座で勉強する」(12.5%)、「家でゲーム機用の学習ソフトで勉強する」(5.3%)、「家でパソコン用の学習ソフトで勉強する」(4.8%)という中学生はごく少数にとどまっている。「時々ある」という回答が大半を占めているように、学校でパソコンが日常的に使用されているわけではない。前回よりもいっくらか増えたとはいえ、

図1-12 メディア利用の状況



注1) [] 内の数値は「よくある」と「時々ある」の合計。
 注2) < > 内の数値は第1回の結果。
 注3) ①②③⑥⑦は、第1回調査では該当項目なし。
 注4) サンプル数は2755人。

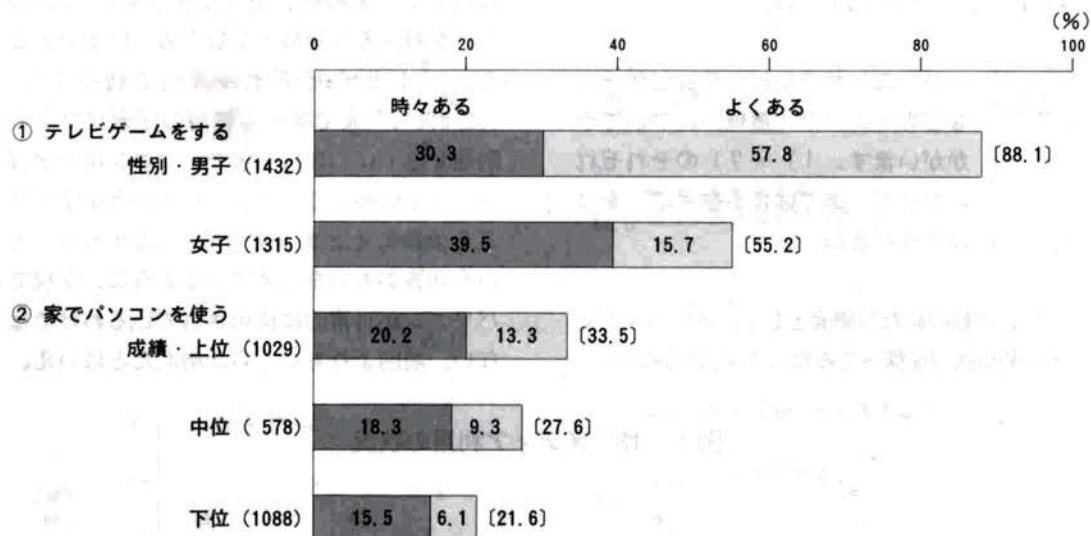
学校の勉強の補助教材としてパソコンなどの機器を使っている中学生はまだ少ない。むしろ「遊び」の道具として位置づけられているようである。

性別にみると、「テレビゲームをする」が

男子に多くみられた。

成績の自己評価別にみると、成績上位者に「家でパソコンを使う」者が3分の1であるのに対して、成績下位者の場合には2割程度にとどまっている。

図1-13 メディア利用の方法（性別、成績別）



注1) [] 内の数値は「よくある」と「時々ある」の合計。
 注2) () 内はサンプル数。